

# 「メール無害化」導入後の添付ファイルつきメールについて

2022/6/1 より、セキュリティ対策としてメール無害化システムが導入されます。

無害化処理が行われた場合のメールについて、サンプルの提示と対応策についてご案内します。

|                        |       |
|------------------------|-------|
| 無害化処理が行われた場合の例         | 1 ページ |
| 隔離処理が行われた場合の例          | 2 ページ |
| 隔離された添付ファイルをダウンロードする手順 | 3 ページ |
| Q&A                    | 4 ページ |

## 添付ファイルに無害化処理が行われた場合

- メール先頭に、システムからのメッセージが自動で追加されます。
- 添付ファイルは原本の添付ファイルの代わりに、無害化処理(sanitized)されたものが添付されます。

システムによって自動で追加されるメッセージ部分:

-----  
本メールには、添付ファイルが含まれていたため、添付ファイルの除去またはファイル無害化を実施しました。  
・無害化できたファイルは添付して配送されています。  
・無害化できないファイルは除去されています。原本メールには以下のリンクから参照できます。

Attach : 添付ファイル名- sanitized (XX.X K)

原本ファイルには無害化処理がされていないファイルが存在する可能性があります。注意が必要です。  
ORIGINAL EML : <https://mx21-1a.gakushuin.ac.jp>\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*

-----

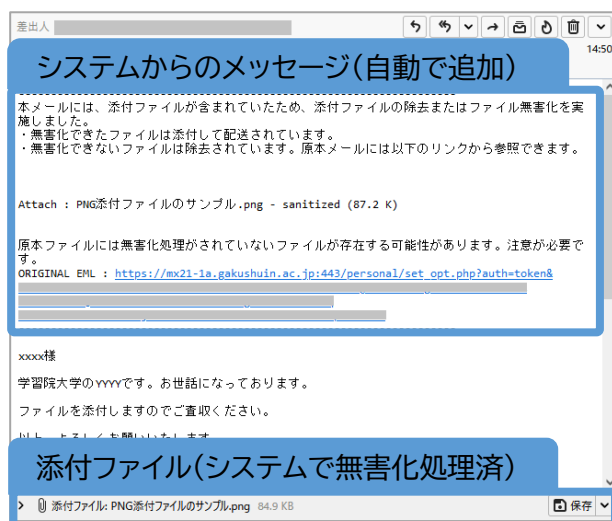
## 無害化処理されるファイルの例



マクロ付き Office ファイルの場合、  
無害化のためマクロ部分が削除されます。

そのほかのファイルでも、システムが必要と  
判断すると処理が行われ、処理済のファイルが原本  
ファイルの代わりに添付されます。

## 受信するメッセージの例(Thunderbird)



無害化される前の原本ファイル入手したい場合は、まず安全性について内容を十分に確認し、  
必要な場合のみ原本ファイルにアクセスするようにしてください。  
原本ファイルにアクセスする場合は、追加されたメッセージの URL にアクセスします。

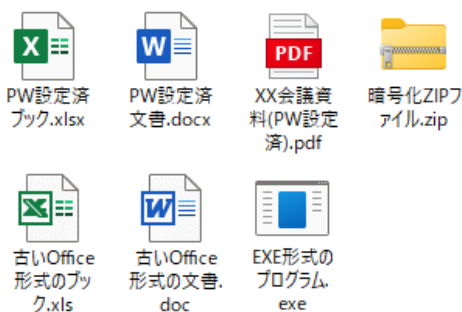
## 添付ファイルが削除される例

- メールの先頭に、システムからのメッセージが自動で追加されます。
- メールに添付されたファイルは削除(deleted)され、システム上に隔離されます。

システムによって自動で追加されるメッセージ部分：

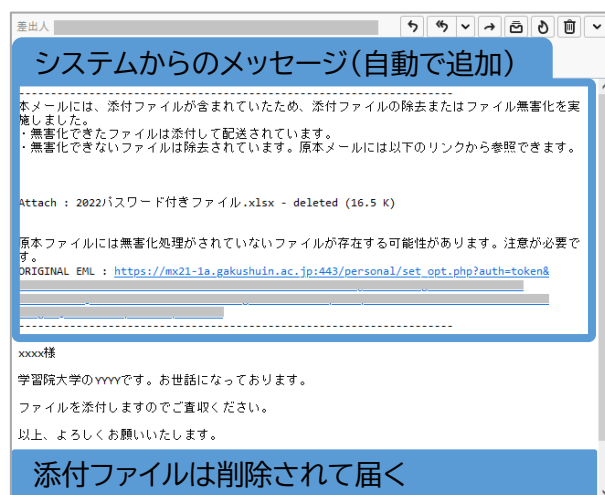
```
-----  
本メールには、添付ファイルが含まれていたため、添付ファイルの除去またはファイル無害化を実施しました。  
・無害化できたファイルは添付して配送されています。  
・無害化できないファイルは除去されています。原本メールには以下のリンクから参照できます。  
  
Attach : 添付ファイル名- deleted (XX.X K)  
  
原本ファイルには無害化処理がされていないファイルが存在する可能性があります。注意が必要です。  
ORIGINAL EML : https://mx21-1a.gakushuin.ac.jp\*\*\*\*\*  
*****  
-----
```

## 削除されるファイルの例



システムで危険だと判断した場合や、システムが添付ファイルの安全性をチェックできなかった場合は、メールから添付ファイルが隔離されます。

## Thunderbird で受信した例:

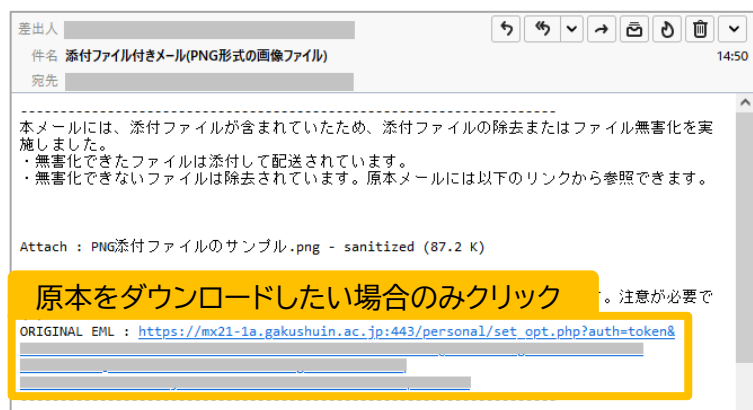


メールから削除された添付ファイルを入手したいときは、メールの内容や安全性について確認を行い、必要な場合のみ添付ファイル原本にアクセスするようにしてください。  
添付ファイルにアクセスする場合は、追加されたメッセージの URL にアクセスします。

## 添付ファイルの原本を入手する手順

無害化・添付ファイルの隔離が行われた場合でも、元々添付されていたファイル(原本)はシステム上に2週間保存されます。原本ファイル入手する必要がある場合は、下記の手順を参照してください。操作を行う前に、無害化されていないファイル入手するリスクについて十分に検討してください。送信者に別の経路で確認を行うなど、注意して作業を行ってください。

1.システムによって自動で追加されるメッセージ部分の「ORIGINAL EML:」の URL をクリックします。



定時配信されているメール「[AntiSpam] 学習院スパムレポート」からも原本にアクセスすることができます。受信メール一覧から「無害化」されているメールのタイトルをクリックしてください。

2.無害化システム上で原本のメールが表示されます。



3.[無害化前原本]ボタンを押し、処理前のメールを表示します。

4.[添付]タブに切り替え、当該の添付ファイルをクリックし、ダウンロードを行ってください。

ここでダウンロードしたファイルは無害化が行われていません。開く場合は十分注意してください。



## Q&A

Q1. 受け取ったメールの先頭に自動で追加された文章がついています。これは問題のあるメールですか。

A1. どちらとも言えません。システムによって自動で追加された文章は、「メール無害化」システムがチェックの結果、添付ファイルについて変更を加えたことを知らせるメッセージです。メールの内容を確認後、添付ファイルについてどうするか判断してください。

Q2. 「メール無害化」導入後、添付ファイル付きのメールは送れなくなりますか。

A2. いいえ。このシステムは受け取ったメールに対してチェックを行うものです。添付ファイル付きのメールは、これまで通り送れます。

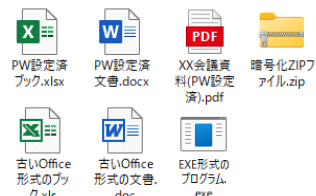
Q3. 「メール無害化」導入後、相手からのメールが届かなくなることはありますか。

A3. 「メール無害化」システムに関してはそのようなことはありません。添付ファイルが隔離された場合でも、メール本文は届きます。スパムメールや悪意のあるメールと判断された場合、メール自体が隔離されます。

Q4. 「メール無害化」導入後、どのような添付ファイルが隔離されるようになるのですか。

A4. 悪意を持った可能性のあるファイルや、ファイルが安全かどうかシステム上で確認できなかったファイルなどです。これらは悪意を持ったファイルの可能性があるため、隔離されます。

- ・パスワード付き ZIP ファイル
- ・パスワードを設定した Office・PDF ファイル
- ・.exe 形式のファイル
- ・拡張子が.xls.doc などの古い Office 互換形式のファイル



Q5. 「メール無害化」導入後、「無害化」されるのはどのようなファイルですか。「無害化」されたファイルの内容は書き換えられていますか。

A5. 悪意を持って利用される情報が含まれる可能性があるファイルに対し、無害化を行います。無害化の際に、マクロの削除やハイパーリンクの削除など一部情報の削除、置換えなどが行われます。ただし、ファイルの中身を見て「賛成」を「反対」に書き換えるようなことはありません。無害化されたファイルと原本ファイルの差異について懸念がある場合は、十分に注意して元のファイルを入手してください。

- ・xlsm形式などマクロが設定された Office ファイル
- ・画像ファイル
- ・システム上で無害化が必要だと判断したファイル



Q6. 添付ファイルが削除されたり、無害化されたメールを受け取りましたが、元の添付ファイルを入手したいです。どうすれば良いですか。

A6. メールを送り主に確認をとるなど、十分に確認を行ってからファイルをダウンロードしてください。元の添付ファイルは、システムでチェック後 2 週間、システム上で保管され、その後は破棄されます。手順については 3 ページを参照してください。

Q7. 「メール無害化」導入後、学内アドレスから学内アドレス宛にメールを送った場合でも、添付ファイルが隔離・無害化されることはありますか。

A7. はい。受け取ったメールに対して無害化処理が行われます。

Q8. 今後、メールにファイルを添付することを止める場合、どのような手段で相手にファイルを送付すれば良いですか。

A8. 学習院ファイル共有サービス (Proself) をご利用ください。送付したいファイルをアップロードし、Proself 上での共有や、一時的にファイルのダウンロードを行っていただくことが可能です。